

東大野球部 メールマガジン Vol.245

ごあいさつ

真夏の焼けつくような暑が続いております。皆さんいかがお過ごしでしょうか。

春季リーグ戦は、8月10日(月)より1試合総当たり方式、有観客試合で開催されております。開幕戦となった対慶應義塾大学戦は中井外野手(2年・土浦一)の適時打で逆転したものの、最後はサヨナラ負けで終わりました。8月11日(火)に行われた対法政大学戦では、終盤に反撃を見せましたが、相手投手の好投で得点を重ねることはできませんでした。

勝利を挙げられなかった悔しさをバネに残り3試合を全力で戦います。

今後とも東大野球部をどうぞよろしくお願いいたします。

今回の特集

「今季の目標」

今回の特集は、「今季の目標」です。春のリーグ戦に向けて、部員にそれぞれ自分の目標を語ってもらいました。

今後の日程

〈令和2年度 春季リーグ戦〉@明治神宮野球場

8月13日 慶大 11:00 明大 早大 13:30 東大
8月14日 法大 11:00 明大 立大 13:30 東大
8月15日 慶大 13:00 早大
8月16日 法大 11:00 慶大 早大 13:30 立大
8月17日 立大 11:00 法大 明大 13:30 東大

石元 悠一 (4年・内野手・桐朋)

私の今シーズンの目標は、チームを勝利に導く一打を放つことです。昨年の秋は、全試合でスタメン出場しましたが、なかなかチャンスで打つことができず、全敗で終わってしまいました。この悔しさを忘れずに、これまで高い意識で練習に励んできました。今季こそ、チャンスで結果を出し、チームの連敗ストップ、勝ち点奪取を達成できるように一生懸命頑張ります。応援よろしくお願いいたします。



大音 周平 (3年・捕手・湘南)

自分は野球部に入部してからリーグ戦で勝ったことがありません。ですから勝利することは常に変わらぬ目標なのですが、去年のリーグ戦で先輩方に頼ってしまいがちだったことが非常に悔しく、今年は自分の力で勝てるようにと個人のレベルアップに努めてまいりました。大変な状況ではありますが、応援して下さる方々、そして野球を続けられるということに感謝し、自分の力を発揮できるよう準備していきたいと思っています。



吉田 洸（3年・マネージャー・栄光学園）

春季リーグ戦の時は不測の事態が必ずと言っていいほど起こります。今季は1試合総当たりの過密日程な上、新型コロナウイルス対策により変則的な動きになることが予想されます。臨機応変に対応できるよう、あらゆる想定をして臨みたいと思います。また、春季リーグ戦に参加できることや弊部のことを支えてくださっている皆様への感謝の気持ちを込めて行動したいと思います。新型コロナウイルス対策だけでなく、熱中症対策もした上で神宮に足を運んでくださると幸いです。



（中央）吉田マネージャー

松岡 泰希（2年・捕手・東京都市大付）

まずはこの状況で、開幕できることに感謝しています。その気持ちを胸に、全力でプレーします。そして、勝つことが一番の目標です。短期決戦の5試合、チャンスは大いにあると思います。捕手としてチームを引っ張り、勝利を掴めるように頑張りたい

と思います。



田中 平祐（2年・マネージャー・ラ・サール）

今季の目標は、「そつなくこなす」です。当然ながらマネージャーは試合でチームに直接何かをもたらすことはできません。できることは自分に与えられた役割をミスなく確実にこなすことで選手がプレーに集中できる環境を作り出すことのみです。視野を広く持って、自分にできることを確実に行って、チームの勝利の輪に加わることができればと思います。暑い中でのリーグ戦となりますが、変わらぬご声援のほどよろしくお願いいたします！



アルバム



「休憩時間に仲良くお絵かき」

誰の絵が上手かな～？

写真：(手前)梅山外野手(4年・四日市)、(後列左から)武隈外野手(4年・鶴丸)、笠原内野手(4年・主将・湘南)、土井外野手(4年・國學院久我山)



「同じ日に生まれた！」

誕生日が同じの2人はとっても仲良しですね！

写真：(左)守屋捕手(2年・暁星)、(右)浦田内野手(2年・金沢泉丘)

編集後記

今回の特集はいかがでしたでしょうか。

次回は「夏といえば」と題して、部員に自分にとっての、夏休みには欠かせないものを語ってもらいます。どうぞお楽しみに！

今後とも東大野球部をよろしくお願いいたします。

お問い合わせ先

〒113-0032

東京都文京区弥生 1-1-1 東大球場

Tel&Fax 03-3811-5100

メールアドレス office@tokyo-bbc.net

メルマガについてのご意見、配信停止のご希望等ございましたら上記連絡先までご連絡ください。